

## 精算表練習問題 2

次の「未処理事項」および「決算整理事項等」にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は1月1日から12月31日までの1年間である。

### 「未処理事項」

1. 期末の現金実際有高は¥75,000である。現金の帳簿残高との差は、出張旅費の精算時に受け取った残金であったことが判明している。なお、この出張にあたり、旅費概算額¥40,000を支払っており精算の処理が未記帳になっている。
2. 固定資産税¥5,000が当座預金口座から引きおとされていたが、未記帳となっている。
3. 売掛金のうち¥20,000が得意先より当座預金口座へ入金があったが、未記帳となっている。
4. 有価証券のすべてを¥550,000で売却していたが、未記帳となっている。売却代金は後日受け取ることにしている。

### 「決算整理事項等」

1. 受取手形と売掛金の期末残高に対して3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
2. 期末商品棚卸高は¥445,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
3. 備品について定額法で減価償却を行う。  
備品：残存価格ゼロ 耐用年数4年
4. 保険料のうち¥36,000は11月1日に向こう1年分を支払ったものであり、未経過分を月割で繰延べる。
5. 支払家賃のうち¥15,000は翌年度の1か月分である。
6. 受取地代は偶数月の月末にむこう2か月分として¥18,000を受け取っている。
7. 貸付金は当期の9月1日に期間1年、年利率3%の条件で貸し付けたもので、利息は返済時に一括して受取ることになっている。なお、利息は月割計算による。



精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	72,000		3,000				75,000	
普通預金	137,000						137,000	
当座預金	350,000		20,000	5,000			365,000	
受取手形	360,000						360,000	
売掛金	300,000			20,000			280,000	
仮払金	40,000			40,000				
有価証券	560,000			560,000				
繰越商品	326,000		445,000	326,000			445,000	
貸付金	200,000						200,000	
備品	400,000						400,000	
土地	1,300,000						1,300,000	
支払手形		380,000						380,000
買掛金		150,000						150,000
前受金		50,000						50,000
貸倒引当金		5,000		14,200				19,200
備品減価償却累計額		150,000		100,000				250,000
資本金		1,534,000						1,534,000
売上		5,900,000				5,900,000		
受取地代		84,000	18,000			66,000		
仕入	3,080,000		326,000	445,000	2,961,000			
給料	640,000				640,000			
旅費交通費	280,000		37,000		317,000			
支払家賃	143,000			15,000	128,000			
保険料	55,000			30,000	25,000			
租税公課	10,000		5,000		15,000			
	8,253,000	8,253,000						
有価証券売却損			10,000		10,000			
未収入金			550,000				550,000	
貸倒引当金繰入			14,200		14,200			
減価償却費			100,000		100,000			
(前払)保険料			30,000				30,000	
(前払)家賃			15,000				15,000	
(前受)地代				18,000				18,000
(未収)利息			2,000				2,000	
受取利息				2,000		2,000		
当期純(利益)					1,757,800			1,757,800
			1,575,200	1,575,200	5,968,000	5,968,000	4,159,000	4,159,000

一つにつき3点。合計30点